

皆さんは「習い事」をしていますか？平成22（2010）年特定サービス産業実態調査の結果から、山口県民がどのようなサービスに投資する傾向にあるかご紹介します。

音楽や書道、そろばんや生花、茶道、英会話教室、カルチャーセンターなど「教養・技能」に関する習い事をしている県民は約8万人。受講者1人当たりの支出額は年間11万3千円で、全国平均の8万5千円を上回り、全国トップとなっています。

習い事の内訳では、水泳やスポーツジム、ヨガやダンス、エアロビクスなど各種スポーツや健康、美容の増進を目的とする「スポーツ・健康」分野が最も多く、全体の約7割を占めています。

「スポーツ・健康」分野における支出額を県民1人あたりに換算すると、年間4191円。全国平均の約2倍で、山口県が全国トップとなっています。

次に、「冠婚葬祭」への支出を見てみます。結婚式1件当たりの支出額は、群馬県がトップで443万円。山口県は180万円で、全国平均の289万円を大きく下回り、47都道府県中40番目。葬儀に対する1件当たりの支出額は、栃木県がトップで195万円。山口県は85万円で、全国平均の130万円を下回り42番目です。

これらから、山口県民は自己啓発意欲が盛んで、儀礼的なものよりも幅広い教養で自分を高めること、特にスポーツや健康分野を通じて、体力づくりや汗を流すことに投資する気風があるのではないのでしょうか。

それが山口国体・山口大会や全国植樹祭などで発揮された、県民力の高さにつながっているのかも知れませんね。

### 教養・技能教授業<スポーツ・健康分野>

(人口1人当たり年間支出額)

H22.11.1現在

